

令和4年度  
教科名等

地理歴史 科

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
江戸から東京へ	江戸から東京へ	2	A B C D	1	必修選択	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・作業
教科書	「江戸から東京へ」東京都教育委員会
使用教材等	オリジナルの配布資料

科目の目標・内容等

学習目標	東京の近世から近代への展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培う。
学習における留意点	近世から近代への東京都の変遷について学び、社会人として必要な歴史的教養を修得する。
予習・復習	毎時の課題等によって学習内容の定着を図る
評価方法	授業時テスト、授業態度・発問応答により評価する

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	東京都の姿 (東京23区・多摩地区の市町村・島嶼部の姿) 幕藩体制の成立 幕政の改革の時代 開国と江戸幕府の滅亡 明治維新と自由民権運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都の区市町村の位置、人口や産業の確認を行う。</li> <li>江戸時代の日本の対外関係と幕藩体制の仕組みを理解する</li> <li>開国に至る経緯と幕府の対応、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。</li> <li>明治新政府の成立当初のねらい、初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都の区市町村の姿を把握している。</li> <li>江戸後期の日本の状況を、世界情勢と関連づけて、正しく把握している。</li> <li>尊王攘夷運動から討幕へ移る流れをきちんと把握している。</li> <li>士族反乱、自由民権運動、政党の結成、憲法制定の経緯や背景、またそれぞれがつながりをもって理解している。</li> </ul>
2	大日本国憲法と初期議会 日清戦争・日露戦争 政党政治の展開 太平洋戦争	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期議会から条約改正、日清・日露戦争に至る経緯と、その戦争がもたらした影響を理解する。</li> <li>明治後半から大正期の政党政治の一連の流れを理解する。</li> <li>軍部の台頭の過程と、これに伴う政治的な状況の変化を理解する。</li> <li>太平洋戦争に至る過程を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>条約改正の目的とその経緯・結果について、時系列に把握している。</li> <li>日清・日露戦争のそれぞれの原因と結果を、正確に把握している。</li> <li>日本がおこなったアジア諸国への勢力拡張の実態を把握し、また、この問題点についても理解している。</li> <li>日本の対外政策の内容を、対アジア諸国、対欧米諸国という視点から理解している。</li> </ul>
3	講和と安保条約 高度経済成長とそのひずみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の日本の復興とその後の国際関係について理解する。</li> <li>日本の復興にともなう高度経済成長とその後の日本がかかえる問題について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の復興政策と日米関係について理解している。</li> <li>高度経済成長に至るまでの経緯を理解し、その後の問題点から真の豊かさについて探究することができる。</li> </ul>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。